

出題分析		
試験時間 60分	配点 100点	大問数 4題
分量 (昨年比較) [減少 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/>	難易度変化 (昨年比較) [易化 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 難化 <input type="checkbox"/>	
<p>【概評】</p> <p>例年通り大問4つで構成され、設問数も昨年と変わらなかった。出題形式は今年もすべて記号選択問題であったが、昨年はなかった組合せ問題が複数出題された。時代については、昨年はなかった戦後史の出題が増加した一方で、近代史の出題が大きく減少した。地域については、中国史に関する出題が増加した。分野については、昨年より文化史の出題がやや減少した。おおむね標準的な内容が問われており、組合せ問題もそれほど難しくないので、全体的な難易度は昨年並みといえる。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	中国の海上交易 (唐～明)	(1)・(2)・(3)：唐代の中国に海路で訪れたムスリム商人は、広州などの港市に設けられた蕃坊と呼ばれる外国人居留地を拠点に交易活動を行った。黄巢の乱のときに広州の外国人商人が虐殺されると、中国における南海交易の拠点は泉州に移り、宋代には市舶司がおかれた。元代の泉州は中国最大の港市として繁栄し、マルコ＝ポーロはこの地を「ザイトン」と呼んだ。リード文中に「サルコンとも呼ばれ」とあるため判断に迷い、誤ってオの福州を選んでしまった受験生がいたかもしれない。	標準
II	冷戦	リード文中のXはフランクリン＝ローズヴェルト、Yはチャーチルである。(4)：アトリー政権後、1951年より再びチャーチルが首相に就任したことも覚えておきたい。(5)：ギリシアでは1947年に王党派と共産党派の内戦が勃発しており、共産主義勢力の「封じ込め」政策を宣言したトルーマン大統領はこの内戦に介入した。(A)：②. ワルシャワ条約機構が正しい。コミンフォルムはマーシャル＝プランに対抗して1947年に発足した。	標準

設問別講評			
III	中国史 (周～北宋)	(1) :周王から封土を与えられた一族や功臣, 地方の有力者を諸侯という。なお, 卿は周王や諸侯に仕える最高位の大臣を指す。(2) :井田制について知らなくても, 語群にある儒家の思想家は孔子と孟子だけであるうえ, リード文中の「戦国時代の儒家」をヒントに考えれば, 夕の孟子が正答であると判断できる。孟子は, 周代で施行されたといわれる井田制を理想的な土地の均分制度と考えた。問2: 11世紀前半に成立した西夏と迷った受験生もいただろう。問3: 『五経正義』は唐代に, 『文選』は南朝(梁)の時代に編纂された。『三国志演義』『水滸伝』は元末から明代にかけてまとめられた。	標準
IV	古代から中世のキリスト教史	(1) : リード文中に「使徒(1)の後継者を自認するローマの司教」とあるため, パウロではなくペテロが正答だと判断できる。(2) : やや難問。エウセビオスが唱えた神寵帝理念は, のちの王権神授説に影響を与えた。(5) やや細かい知識だが, 「6世紀末」という時期をヒントに解答できる。問1: (A)に入る文の(b)は, パリサイ派に関する内容であり, イエスはパリサイ派を批判した。問4: (H)に入る文の(a)は, 1378年から始まった教会大分裂について述べた文であり, 正しい。	標準

合格のための学習法

関西大学の入試世界史は基礎～標準レベルの知識で解答できる設問が大半であり, 高得点での争いとなりやすいため, ケアレスミスは防ぎたい。教科書の内容を正確に理解しつつ, 苦手な地域や時代をつくらないようにしたい。例年, 近現代史からの出題がみられ, また, 文化史も頻出である。特に文化史は, 日程によっては文化史関連の設問のみで構成された大問が出題される場合もある。資料集や用語集を活用しながら過去問演習を行い, 入念に対策をしておきたい。